



鴨居中だより

郵便番号 239-0813 横須賀市鴨居 3-2-2
 Tel (046) 841-0442 Fax (046) 841-0556
 E-mail : admini@kamoi-j.yknet.ed.jp

【令和5年度 学校教育目標】
自分をみがき 自分を生かす
【自立】【共生】【貢献】
発行者 校長 星野 洋 司

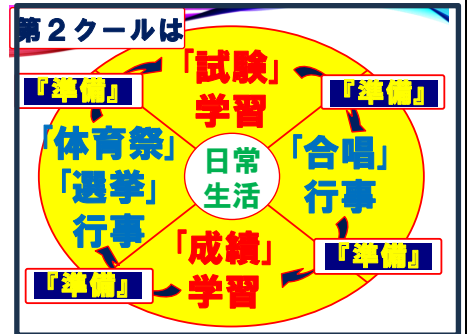


『第2クールは最も忙しい、 その分、わくわくも大きく!』

38日間の夏休みも「あっ!」という間に終わり、8月28日(月)から「第2クール(8月末~12月)」がスタートとなりました。28日の全校集会では、今年の夏休みについて聴いたところ、「短く感じた人」「忙しかった人」「ゆっくりできた人」「充実していた人」と様々な感想を教えてくださいました。それでも最後に「わくわくすることができた人は?」と聴くと、多くの生徒が手を挙げていたので、一人ひとりにとって『価値ある夏休み』だったのだなと感じました。(しかし最後の最後には、「正直、もう少し延ばして欲しかった」と本音を答えてくれた人が一番多くいました。私もその中の一人です) ですが、すでに第2クールは始まっているため、前向きな気持ちになりスタートしてもらいたいと考え、「第2クールの流れとポイント」について確認してもらいました。

(特に1年生にとっては、初めてとなり先が見えないので)

このクールは「前期期末試験」から始まり、そして「合唱祭(鴨中祭)」「前期終了(通知表配布)」「後期開始」「体育祭」「3年後期中間試験」「生徒役員選挙」「1・2年後期中間試験」「三者面談」「冬休み」へと、次から次へと絶えず「準備→取り組み」が繰り返される最も忙しい期間となります。その中で、「常に上を向き、前に進み続けることができるか!」が大きなポイントであり、鴨居中の今後は大きく左右する重要な時期でもあります。その取り組み一つ一つを「自分をみがく・生かすチャンス」と捉え、どれだけ『わくわく』へと、変えることができるかが楽しみです。そこで今回は、とってもしばりになれる曲「ワイは、ワイワイでいいワイ ~おまえワイ?~(GReeeeN)」を聴いてもらいました。忙しく慌ただしいこの第2クールだからこそ「ポジティブになり、先を計算して、挑戦(わくわく)できる大切な期間」となることを願っています。



すでに第1ステップの「前期期末試験」も終わり、第2ステップ「合唱祭」の取り組みがスタートしています。合唱祭の取り組みは、4年ぶりとなり全学年が「0(ゼロ)」からのスタートとなります。クラス合唱は、文化体育委員・各パートリーダーが中心となり、全員の声で1つのクラス作品を創り上げるものです。(同じ曲でもメンバーが違えば、「新しい曲」となり、学年になれば「また違う曲」となります) しかし練習では、上手く進む日もあれば、なかなか進まない日もあります。それでも、「次はどんな練習を…。どんな言葉かけを…。」と、常にポジティブ(ピンチをチャンス)に捉え、チャレンジしながら創り上げることが、合唱創りの楽しみであり「わくわく」となるのです。特に3年生にとっては、最初で最後となる「鴨居中合唱祭」です。3年分の思いを込めたクラス・学年合唱を創り上げ、心に躍る合唱を聴かせてくれることを楽しみにしています。よろしくお願ひします。

~「合唱作」の楽しみは~



このように第2クールは、休むことなく走り続けていく時期となりますが、それでも大切にして欲しいことは「一人ひとりの『毎日の生活基本』を充実させる」ことです。本当に価値ある取り組みとなり、次へつなぐ(残す)ためには、「自分たちの足元(生活基本)をしっかり見つめ・固め、一步一步しっかり進んで行くこと」が『価値ある行事創り』となるのです。

「各行事は、鴨居中を成長させるための『一つの手段』であり、『通過点』であることを押さえてください。(行事がゴールではないことを!)」このことは、生徒会長の紺野さんも生活の小侯先生も伝えていた内容です。

私も1年生と同じで、すべてが初めてとなる鴨居中の行事(合唱祭・体育祭)、楽しみで『わくわく』しています。

【鴨居中 小さな(大きな) わくわく NO.14】 「集中力は、自分の方法で！」

8月28日の生徒集会で、生徒会長(紺野さん)から「夏休みの自分の目標(挑戦)」について話がありました。紺野さんの目標は「一日 13時間以上の学習」と決め、実際に達成させることができたそうです。その「集中力を高める方法」や「時間の使い方」など、とても興味・関心が湧いたので、実際に紺野さんに話を聞いてみました。



<目標設定した「理由」> 将来の目標がある程度決まったので、「今、出来る

ことは…」と考え、決めたとそうです。また、勉強は自分を成長させる大切なアイテムの1つなので「楽しい感覚」で取り組んだそうです。

<集中する「秘訣」> 勉強の時間を固定し、休憩時間との切り替えを大切にしていたそうです。そして集中力が切れそうになった時は、我慢せずストレッチなど体を動かしたりフレッシュするように心がけたそうです。

<今年の夏休みの「充実度」> 『100%です』と、力強く即答してくれました。

話を聞いて感じたことは、「集中してやりきる自分への強さ」と「自分の目標をしっかり定めることの大切さ」を改めて感じました。そして何より「人に言われてやるのではなく、『自分自身で必要性を感じ、自分の方法を見つける』ことが大切だと感じました。そのためにも「自己分析(強み・弱みを知る)」を行い、自分と正直に向き合えることが大切なことだと、紺野さんから再確認させてもらいました。「ありがとうございました。」

【鴨居中 小さな(大きな) わくわく NO.15】 「鴨居中から 全国・関東でも活躍！」

7月22日の神奈川県通信陸上選手権大会において、3年『亀倉虎太郎さん』が「四種競技」で、「第50回全国中学校陸上競技選手権大会」への出場を決定しました。(佐々木さんは、すでに出場が決定しています)そして、同じ種目で『佐々木結翔さん』『亀倉虎太郎さん』ともに、「第51回関東中学校陸上競技大会(8月7日・8日 茨城県ひたちなか市開催)」へも出場しました。

関東・全国大会ともに、大変暑い中ではありましたが、二人とも大きな舞台でとても頑張ってくれました。(私も関東大会へ行き、わくわくしながら応援していました) 関東大会では『佐々木さん 6位入賞』『亀倉さん 8位入賞』と、素晴らしい結果を残してくれました。「おめでとうございます。」

また休み中には、多くの部活動で県総体やコンクールに出場し、活躍してくれました。これで、2年生が中心となり「新チーム」として活動している部活もあると思います。新たな部活目標を決め、チャレンジしてください。これからも新たな「わくわく」を楽しみにしています。



【鴨居中 小さな ショック😱 NO.1(最終にしたい)】 「喉元過ぎても、熱さを忘れるな！」

先日、各クラスで担任の先生から話があったと思いますが、地域の方から下校の様子についてお電話をいただきました。具体的には「歩道に広がって歩き、道をゆずらないため小学生が車道を歩き、その横を車が走り過ぎている。またおしゃべりに夢中になり、ぶつかっても何も言わず通り過ぎている。先生方はこの光景をどのように感じますか?」と連絡がありました。

登下校時の件は、5月の全校集会で『違和感』として、話をしたのを覚えていらっしゃるでしょうか?みなさんに『何かを感じてもらいたい』ため、公園のゴミ・歩道の歩き方の写真を見ながら考えてもらいました。その直後はみなさんも意識を高く持ち歩いていたのですが、最近ではその意識も徐々に薄れているように感じていました。そこで「再度、感じてもらいたいため」ある対策を講じていたのですが、気づいてくれたでしょうか。実はC棟側門の幅を「2名分」にせばめていたのです。多くの人が一斉に出ると歩道をふさいでしまうため、門を出る前に調整していたのです。少しでも気づいて行動して欲しかったのですが、残念です。

自分の意思でいろいろなことを感じ、行動できることが「社会に出たときに必要なことであり、社会に出て通用するポイント」だと、私は感じています。今回の件は「そのための大切なアドバイス」と捉え、ピンチをチャンスへと繋げていきましょう。だからこそ、地域の方へは感謝しかありません。「ありがとうございました。」

